［今日のポイント］ -印刷について-

○カラー印刷の基本は、三原色＋黒インクで行っている。

・三原色は、赤（マゼンタ）・青（シアン）・黄（イエロー）。
・ただし、メーカーによっては、写真印刷用に「５色」や「８色」パックのインクもある。

○印刷の善し悪しは、「用紙」と「スピード（印刷速度）」で変わる。

・「用紙」には、印刷する「**紙**」と、プリンタに教える「**紙情報**」がある。
・印刷する「**紙**」は、実際に印刷するための「紙」のこと。
・プリンタに教える「**紙情報**」は、プリンタが最適な状態で印刷するために、**これから印刷する紙情報（サイズや種類など）**のこと。
プリンターは、印刷する紙について何もわからないので、ユーザーが事前に教えないと間違った印刷をする。

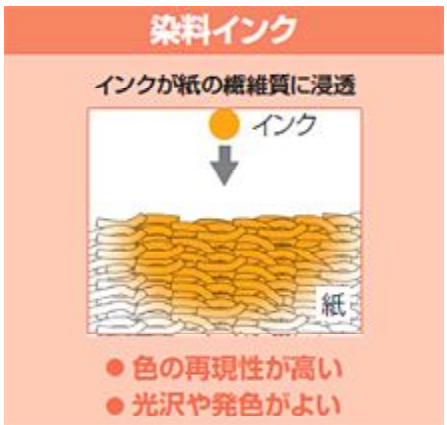
○印刷する用紙について

普通のコピー用紙	×	にじむ。発色が良くない。
カラー専用用紙 ファイン用紙 スーパーファイン用紙 インクジェット用年賀状 光沢紙	 △ △ ○ ○	 ビジネス用。にじまないが、発色△。 ビジネス用。発色は○で、グラフやイラスト印刷に○だが、写真は×。 **写真印刷も○な特殊な紙。** **フォト専用紙**より薄いが、発色・写真は○。
フォト専用用紙	◎	印画紙タイプ

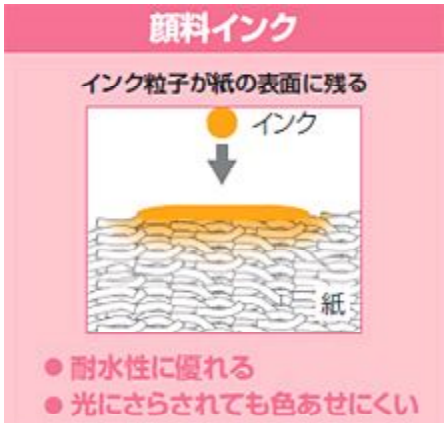
○意外な落とし穴…プリンターの「印刷速度」（または「解像度」）に注意！

・印刷する前に、プリンターの**「プロパティ」を確認しよう。**
・**きれい、ファイン、高解像度**…とてもきれいだが、印刷時間がかかる。
インクも多く消費する。
・**普通、ノーマル、中解像度**　…印刷時間は早いが、出来映えはイマイチ。
インクの消費量は少ない。

豆知識(1)ー顔料インクと染料インクについて



染料インクは、
インクが紙の繊維質に浸透します。
用紙表面にインクの凹凸ができないため、**顔料インクより印刷結果がきれい**。
しかし、用紙を濡らすと紙の繊維質に浸透している**インクと水が混じり、にじみます。**
変色しやすい。



顔料インクは、
インクの粒子が紙の表面に残ります。
用紙の中で**インクと水が混ざりにくい**ため、水に濡れてもにじみを抑えたり、変色しにくい。
屋外ポスターなどに向いています。
光沢紙のような表面がツルツルした用紙に印刷すると、乾いたインクがはがれる事がある。ただし、最近では顔料インクでもはがれにくい光沢紙もある。

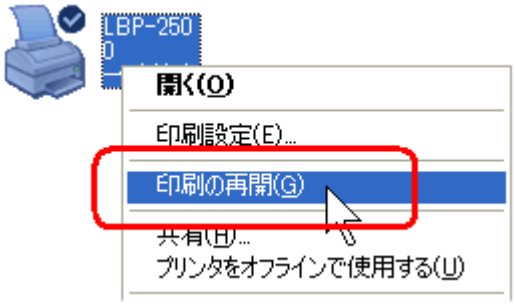
	光沢感	耐水・対光	こすると…
染料インク	○	×	○
顔料インク	△	○	×

豆知識(2)－プリンタの「一時停止」を直す方法

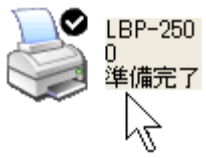
プリンターが一時停止状態になったら…

1. **コントロールパネルの「プリンターとFAX」**をクリックして、**一時停止中のプリンタを選択(クリック)**する。

2. そのまま、**マウスの右ボタンメニュー**にある**「印刷の再開」**をクリックする。



または、

3. ウィンドウの**左側にある[プリンタのタスク]**の中にある**「印刷の再開」**をクリックする。

4. 以上で、問題のプリンターは**「準備完了」**となり、**使えるようになる。**